

こども文教委員会  
令和3年8月13日

教育委員会事務局 資料1番

所管 教育総務課

令和2年度

おおた教育ビジョンの事業実績と評価

～大田区教育委員会行政評価結果報告書～

おおた教育ビジョン

(令和3～5年度補完版)

令和元年度(2019年度)～令和5年度(2023年度)実施計画  
第3期大田区教育振興基本計画

令和3年7月

大田区教育委員会



## はじめに

大田区教育委員会では、大田区の教育の5か年計画として重要施策を取りまとめた「おおた教育ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を令和元年6月に策定いたしました。このビジョンの推進にあたっては、より実効性を高めるため、毎年取組の状況について点検・評価を実施することとしております。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条では、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことが義務付けられております。

以上のことから、この度、ビジョンの令和2年度実施状況の点検・評価を行い、報告書として取りまとめました。点検・評価の実施にあたりましては、今後の教育施策の参考とさせていただくために、学識者の視点として有村久春氏に依頼し、ご意見をいただき掲載しております。

本報告書につきましては、区民の皆様に対して、教育に関する事業の実施状況を説明させていただくため、区議会に提出するとともに、ホームページにより公表いたします。

また、令和2年から新型コロナウイルス感染症の影響により、ビジョンに掲げた取組内容の一部に実施困難なものが生じています。

このため、昨年度はビジョンで特に重視する「未来を創る力の育成」に係る24の事業について、コロナ禍においても実施可能な取組に見直す「令和2年度補完版」を策定しました。

このたび、ビジョンに掲げる全事業を対象に計画を点検し、令和3年度以降の取組を必要に応じて補完する「令和3～5年度補完版」を策定いたしました。

大田区教育委員会は、これからの社会を担う子どもたち一人ひとりが未来社会の変化にしなやかに対応するとともに、主体的に社会に参画し、新たな知識や価値を創り出し、豊かに生きていく力をはぐくむことができるように、今回の点検・評価の結果を踏まえ、大田区の教育が一層充実したものとなるよう努めてまいります。そのためにも、これまで以上に、学校、家庭、地域、行政の連携を深め、各施策に取り組んでまいります。

## 目 次

<b>I 令和2年度「おおた教育ビジョン」の事業実績と評価、</b>	
<b>おおた教育ビジョン（令和3～5年度補完版）</b>	<b>1</b>
「おおた教育ビジョン」体系図	3
「成果指標」 実績・評価一覧	4
おおた教育ビジョン事業一覧（総括表）	10
「評価事業」 実績・評価・計画一覧	
プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】	14
プラン2 学力の向上【知】	22
プラン3 豊かな心の育成【徳】	24
プラン4 体力の向上と健康の増進【体】	27
プラン5 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】	29
プラン6 学校・家庭・地域が一体となつてともに進める教育	
【学校・家庭・地域】	39
<b>II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る有識者意見</b>	<b>43</b>

# I 令和2年度「おおた教育ビジョン」の事業実績と評価、 おおた教育ビジョン(令和3～5年度補完版)

おおた教育ビジョンに掲載した計画事業について、下記の判定基準に基づき、令和2年度の事業実績の評価を行いました。対象事業は6つのプランに掲載した93事業で、57事業が「○」、25事業が「△」、9事業が「×」、2事業が「☆」となりました。各プラン毎の内訳は、下記の評価結果のとおりです。

各事業の実施状況及び評価の詳細については、各プランの「評価事業」実績・評価・計画一覧のとおりです。評価は、各事業の令和2年度目標に対する進捗状況により判定しています。本件点検・評価の実施により、各事業の成果及び課題を把握し、次年度につなげています。

また、同様の判定基準に基づき、令和3～5年度計画の点検を行い、一部の取組について必要に応じて補完しました。各プラン毎の年度別評価の内訳は、下記の評価結果のとおりです。

各事業の評価及び補完内容については、各プランの「評価事業」実績・評価・計画一覧のとおりです。この内容を踏まえ、令和3年度以降の取組を着実に進めてまいります。

## ○判定の基準

○	計画通り実施
△	実施内容変更
×	中止(予定)
☆	計画を上回る進捗で実施

## ○評価結果

### 令和2年度実績

プラン名	令和2年度 対象事業数	評価			
		○	△	×	☆
1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成	24	16	7	0	1
2 学力の向上	7	4	2	1	0
3 豊かな心の育成	7	3	2	2	0
4 体力の向上と健康の増進	7	3	0	4	0
5 魅力ある教育環境づくり	36	26	8	1	1
6 学校・家庭・地域が一体となっても進める教育	12	5	6	1	0
計	93	57	25	9	2

### 令和3年度計画

プラン名	令和3年度 対象事業数	評価			
		○	△	×	☆
1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成	24	21	2	0	1
2 学力の向上	7	7	0	0	0
3 豊かな心の育成	7	5	1	1	0
4 体力の向上と健康の増進	7	5	0	2	0
5 魅力ある教育環境づくり	38	27	10	0	1
6 学校・家庭・地域が一体となっても進める教育	12	11	1	0	0
計	95	76	14	3	2

令和4年度計画

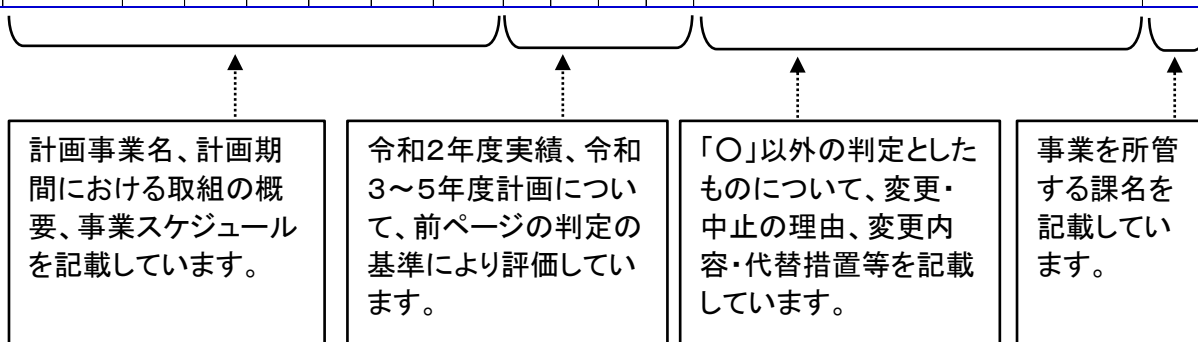
プラン名	令和4年度 対象事業数	評価			
		○	△	×	☆
1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成	24	24	0	0	0
2 学力の向上	7	7	0	0	0
3 豊かな心の育成	7	7	0	0	0
4 体力の向上と健康の増進	7	6	0	1	0
5 魅力ある教育環境づくり	37	26	10	0	1
6 学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育	12	11	1	0	0
計	94	81	11	1	1

令和5年度計画

プラン名	令和5年度 対象事業数	評価			
		○	△	×	☆
1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成	24	24	0	0	0
2 学力の向上	7	7	0	0	0
3 豊かな心の育成	7	7	0	0	0
4 体力の向上と健康の増進	7	6	0	1	0
5 魅力ある教育環境づくり	36	30	6	0	0
6 学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育	12	11	1	0	0
計	93	85	7	1	0

○「評価事業」実績・評価・計画一覧の見方

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画		
18	中学校生徒海外派遣	海外（アメリカ合衆国・セーラム市、ドイツ連邦共和国・ブレーメン市）でのホームステイを通して、外国の生活や文化の理解、並びに外国語（英語）の習熟などを図り、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな生徒の育成をめざします。 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度～ 実施 → 継続	△	△	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の海外派遣は中止としましたが、国際感覚を育む機会を作るよう、ICT機器やデジタル教科書を活用しながら授業等を充実させました。 ○令和3年度計画 新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の海外派遣は中止としますが、国際感覚を育む機会を作るよう、ICT機器やデジタル教科書を活用しながら授業等を充実させ、学習成果を動画等で記録し派遣地の関係者に見ていただくなどの交流活動を検討します。	指導課



# おおた教育ビジョン ～豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる～

## 教育ビジョン

## 重点的に進める教育プラン

**ビジョンⅠ**  
社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力を育成する

**ビジョンⅡ**  
「知・徳・体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する

**ビジョンⅢ**  
意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する

**ビジョンⅣ**  
地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる

### プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成 【未来】

- ・「コミュニケーション能力」
- ・「論理的、科学的な思考力」
- ・「情報活用能力」
- ・「ともに生きる力」
- ・「健康増進・体力向上」

コミュニケーション能力に富み、多様な価値を創造する子どもを育てる  
論理的、科学的に思考し、新たな「知」を生み出す子どもを育てる  
多様な情報を生かし、高度情報化社会を生きる子どもを育てる  
考えの違いや多様性を尊重しながら共通性を見出し、ともに生きる子どもを育てる  
生涯を通して健康の増進に努め、体力の向上を図る子どもを育てる

- 国語教育の充実
- 科学教育の充実
- ICT教育の充実
- 人権教育の推進
- 健康教育の推進
- 外国語教育の充実
- 算数・数学教育の充実
- プログラミング教育
- 国際理解教育の推進
- 食育の推進
- 体育の充実
- がん教育の実施
- など

### プラン2 学力の向上 【知】

- ・「基礎的な知識・技能」
- ・「思考力・判断力・表現力」
- ・「主体的に学習に取り組む態度」

「生きる力」の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた子どもを育てる  
課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力に富む子どもを育てる  
学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む子どもを育てる

- 大田区学習効果測定の実施
- 習熟度別少人数学習の実施
- 学習指導講師等による補習教室
- 教育研究推進校での実践的研究
- など

### プラン3 豊かな心の育成 【徳】

- ・「道徳性の涵養」
- ・「豊かな情操や感性の醸成」
- ・「主体性の育成」
- ・「保幼小中一貫した心の教育」

正義感、責任感、規範意識、自他の生命の尊重など、道徳心に富む子どもを育てる  
自然を大切にし、他者を思いやるなど、豊かな情操と感性に富む子どもを育てる  
自己肯定感・自己有用感をもち、社会に参画するなど、主体性のある子どもを育てる  
就学前から小中学校まで、切れ目なくすこやかに心が成長していく子どもを育てる

- 「特別の教科道徳」の実施
- 移動教室を通じた体験活動の充実
- 集団活動など特別活動、社会体験活動の充実
- 幼児教育の充実
- 保幼小中一貫した心の教育の充実
- など

### プラン4 体力の向上と健康の増進 【体】

- ・「体力の向上」
- ・「スポーツを楽しむ態度」
- ・「健康づくり」
- ・「基本的な生活習慣の確立」

生涯にわたってたくましく生きるための体力の向上に積極的に取り組む子どもを育てる  
スポーツの楽しさを知り、生涯にわたってスポーツを楽しもうとする子どもを育てる  
健康の大切さを知り、生涯にわたって健康づくりに努める子どもを育てる  
「早寝、早起き、朝ごはん」など、基本的な生活習慣の身に付いた子どもを育てる

- 体力調査結果の分析による体育の授業改善
- 大田区小学生駅伝大会の実施
- 体育指導の充実と外遊びの奨励
- 幼児小連携運動遊び指導者研修
- 基本的な生活習慣の確立
- など

### プラン5 魅力ある教育環境づくり 【学校・教職員】

- ・「特色ある学校づくり」
- ・「教員の指導力の向上」
- ・「主体的・対話的で深い学び」
- ・「学校組織の活性化」
- ・「教育環境の整備」
- ・「特別支援教育の充実」
- ・「いじめ問題、不登校対策の充実」
- ・「安全・安心の向上」

地域の特色を生かし、学ぶ楽しさ、生きる喜びにあふれる学校経営を推進する  
学習指導力、生活指導力など、教員の専門的な指導力の向上を図る  
「主体的・対話的で深い学び」により意欲あふれる授業づくりを行う  
チーム学校の推進や業務改善により、学校組織の活性化・効率化を図る  
ICT環境の整備、学校施設の改築など、良質な教育環境を整備する  
一人ひとりの児童・生徒のニーズに応じた特別支援教育を充実する  
いじめ問題、不登校対策など、一人ひとりの児童・生徒の心に寄り添う教育を充実する  
交通安全、防犯など、安全・安心を向上させるための教育を推進する

- 授業改善セミナーの実施
- いじめ防止対策の強化
- 副校長アシスタントの配置
- 部活動指導員・校外指導員の配置
- トイレの洋式化
- 体育館の空調化
- 学校特別支援員の配置など

### プラン6 学校・家庭・地域が一体となつてともに進める教育 【学校・家庭・地域】

- ・「地域とともにある学校づくり」
- ・「安全・安心な環境づくり」
- ・「家庭教育への支援」
- ・「教育相談の充実」
- ・「地域への愛着を育てる教育」
- ・「図書館の整備と文化財保護」

地域の特色を生かして地域とともにある学校づくりを行う  
児童・生徒の居場所づくりを進め、安全・安心な環境づくりを行う  
家庭環境に応じた家庭教育への支援を行う  
多様化する幼児・児童・生徒の問題に対する教育相談体制の充実を図る  
地域とのかかわりを通して地域への愛着や誇りを育てる教育を充実する  
区民の学びを支え、地域の文化を次世代につなげる

- 地域教育連絡協議会の発展（学校運営協議会設置の検討）
- 学校支援地域本部の発展・充実
- 放課後の児童の居場所づくり
- PTA活動と連携した家庭教育支援
- 教育相談体制の充実
- 地域行事への参加
- 図書館のICT化の推進
- など

基本構想実現に向けた計画

分野別個別計画

大田区基本計画  
大田区実施計画

整合・連携

分野別個別計画等  
各部策定の

大田区教育大綱

理念を共有

大田区教育委員会  
教育目標の要旨

- 基礎学力を習得する。  
●豊かな情操と公共の精神を養う。  
●健やかな身体を育む。  
●心豊かに生活できる地域社会を実現する。

#### ※教育目標策定の背景

- ・教育基本法、学校教育法、学習指導要領、社会教育法等を踏まえた教育の充実
- ・大田区基本構想将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現
- ・大田区としての教育の展開
- ・児童・生徒、学校や区民の実態に応じた教育の充実

「成果指標」実績・評価一覧

プラン区分	目標	成果指標						成果指標の説明	令和2年度 成果指標の実績評価 (成果・課題等)		
		年度	H30	R1	R2	R3	R4			R5	
プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成 【未来】	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	英語検定3級以上を取得している生徒の割合（中学校第3学年） ◎実用英語技能検定	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	文部科学省は、第3期教育振興基本計画において、中学校卒業段階で英検3級程度以上を達成した割合を50%以上にするという指標を立てています。同様に東京都でも「東京グローバル人材育成計画'20」において、令和5年度までの達成目標として60%以上という指標を立てています。 一方、大田区の取得率は平成30年度時点で32.8%であり、令和5年度までに取得率を60.0%に向上させることをめざすことで、国際化の進展に対応した教育を推進します。	○令和元年度から、大田区立中学校第3学年全生徒を対象に公費負担による実用英語技能検定を実施しています。成果指標の令和2年度実績数値は52.3%で、令和元年度の47.4%から4.9ポイント上昇しました。これは、区立中学校において放課後及び土曜日に実施している補習教室での基礎・基本の確実な定着や、外国語教育指導員の配置によるコミュニケーション能力の育成、ICT機器やデジタル教科書を活用し、ネイティブの発音や会話を聞くなど、英語活動の充実による成果と考えています。 ○今後も、大田区立中学校実用英語検定を継続し、令和5年度での目標値である60.0%の達成に向けて、生徒の英語学習の意欲向上を図りたいと考えています。
		目標	(基準値) 32.8%					(目標値) 60.0%	実績		
		理科・期待正答率を超えた生徒の割合（中学校第1学年） ◎大田区学習効果測定	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	科学教育とは、理科と算数・数学の知識を基盤とし、客観的に自然の法則を認識する力や態度をはぐくむ教育です。 大田区では、科学に直接かかわる理科を重視し、理科教育推進拠点校として、区内3小学校を指定し、地域の独自性を生かしながら理科を中心としたカリキュラム・マネジメントを実施します。3校の取組成果を全ての小学校と共有し、教育活動に生かすことで、科学教育の充実を図ります。 平成30年度の大田区学習効果測定の「中学校第1学年理科・期待正答率を超えた生徒の割合（達成率）」は62.7%であり、全国の達成率は68.0%でした。 そこで、成果指標は、大田区学習効果測定の中学校第1学年理科の達成率とし、令和5年度の目標値を平成30年度の全国の達成率である68.0%とします。	○成果指標の令和2年度実績数値は61.4%で、令和元年度の63.1%に対し、1.7ポイント減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な実験・観察が行えなかった結果であると考えています。 ○授業改善セミナーを中心に教科の専門性を高める研修を実施し、教員の指導力の向上を図ります。夏の小学校理科授業力向上研修においては、大学教授等を講師に招き、各学年の中で課題となっている単元を取り上げて実施し、教員の授業力向上を図ります。令和2年度からは、小学校理科指導専門員・中学校理科指導専門員を各4名配置し、各学校に巡回し、指導・助言をすることで、さらに教員の授業力向上を推進し、児童・生徒の学力向上へつなげております。
		目標	(基準値) 62.7%					(目標値) 68.0%	実績		



プラン区分	目標	成果指標						成果指標の説明	令和2年度 成果指標の実績評価 (成果・課題等)
		年度	H30	R1	R2	R3	R4		
	「コンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集して自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる」と答えた児童の割合 (小学校第6学年) ◎大田区教育委員会調査	目標	(基準値) 38.5%					(目標値) 50.0%	○成果指標の令和2年度実績数値は41.8%で、令和元年度の41.6%に対し、0.2ポイント上昇しました。微増ではありますが、新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、学習者用タブレット型パソコンを活用し、児童の意見をスライドレール式電子黒板に表示し、互いの考えを明らかにしながら話し合う学習活動を行った結果であると考えています。 ○令和3年2月に区内小学校全児童1人1台タブレット端末の貸与を完了しました。このタブレット端末を効果的に活用して、調べたことをまとめたり、発表したりする活動を意識的に取り入れた授業改善に努め、目標値を達成することができるよう取り組んでいきたいと考えています。
実績			41.6%	41.8%					
	「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と答えた生徒の割合 (中学校第3学年) ◎全国学力・学習状況調査	目標	(基準値) 76.1%					(目標値) 80.0%	○成果指標の令和2年度実績数値は90.6%(※1)で、令和元年度の71.6%に対し、19.0ポイント上昇しました。例年の調査時期は中学校第3学年の4月であるのに対し、今回の独自調査は学年末の3月でした。臨時休業の時期があったものの、年間を通して新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、話し合う活動や自分の考えを深めたり、広げたりする活動を行った結果、数値が高くなったと考えています。 ○令和3年度から中学校新学習指導要領が全面実施になります。授業改善リーダー研修を通じて主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を図り、生徒の話し合う活動を様々な授業において設定することで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるよう、取り組んでいきたいと考えています。
実績			71.6%	90.6% (※1)					

プラン区分	目標	成果指標						成果指標の説明	令和2年度 成果指標の実績評価 (成果・課題等)
		年度	H30	R1	R2	R3	R4		
	「運動をもっとしたい」と答えた児童の割合（小学校第6学年） ◎東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査	目標	(基準値) 55.45%					(目標値) 60.60%	<p>生涯にわたり健康の維持増進を図るためには、運動やスポーツが好きという気持ちを子どもの頃から高め、運動習慣を定着させることが大切です。そのためには、運動やスポーツの楽しさや喜びを味わい魅力を感じる必要があります。</p> <p>平成30年度の東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査では、「運動をもっとしたいか」という質問に対し、区立小学校第6学年の肯定的回答の平均値は55.45%でした。同調査では、東京都55.60%となっています。</p> <p>「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の項目に肯定的に回答する小学校第6学年の割合を成果指標として設定し、令和5年度には、60.60%まで引き上げることをめざして取り組んでいきます。</p>
		実績		55.50%	56.04% (※2)				
プラン2 学力の向上 【知】	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。 ◎大田区学習効果測定	目標	(基準値) 64.5%					(目標値) 65.7%	<p>おた教育振興プラン2014の学力向上アクションプランでは、基礎学力の定着の度合いを測る成果指標として、大田区学習効果測定の中で、積み重ねの教科である数学の中学校第3学年の期待正答率を設定しました。平成30年度の目標値を期待正答率62.0%とし、学力向上に向けた取組を推進した結果、平成30年度の期待正答率は64.5%となり、目標を達成しました。また、国語、社会、理科を含めた4教科の達成率についても全教科で平成25年度の達成率を上回り、学力の向上を推進することができました。</p> <p>しかし、全国での学力向上に向けた取組も推進され、全国の達成率も向上しており、平成30年度中学校第3学年数学の全国の達成率は65.7%でした。そこで、成果指標は引き続き、大田区学習効果測定の中学校第3学年の達成率とし、令和5年度の目標値を平成30年度の全国の達成率である65.7%とします。</p>
		実績		68.9%	67.0%				

プラン区分	目標	成果指標	成果指標の説明						令和2年度 成果指標の実績評価 (成果・課題等)			
			年度	H30	R1	R2	R3	R4		R5		
プラン3 豊かな心の育成 【徳】	子ども一人ひとりの健全な正義感や自己肯定感、自己有用感等を高めるとともに、自他の生命の尊重する心を育成する等、未来への希望に満ちた豊かな心を育みます。	「自分にはよいところがある」と答えた児童の割合（小学校第6学年） ◎全国学力・学習状況調査	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	自己肯定感は、年齢が上がるにつれて下がる傾向にあります。特に日本人は諸外国と比べ数値が低いと言われてきました。平成30年度の全国学力・学習状況調査では、区立小学校第6学年の肯定的回答の平均値は82.2%でした。同調査では、東京都83.6%、全国84.0%となっています。過去5年間の大田区の児童の自己肯定感は年々上昇しており、都と国の値に近付きつつあります。 全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがある」の項目に肯定的に回答する小学校第6学年の割合を成果指標として設定し、令和5年度には、平成30年度の全国平均値まで引き上げることをめざして取り組みます。	○成果指標の令和2年度実績数値は75.0%（※1）で、令和元年度の81.7%に対し、6.7ポイント減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な学校行事等が中止となったことや実施しても限定された活動になってしまったことにより、児童が自己肯定感を高めたり、教職員が児童を評価する機会が減少したことが影響していると考えています。 ○今後、教職員は意図的・計画的に主体的に学習に取り組む態度を評価するとともに、児童・生徒一人一人の良い点や可能性、進歩の状況について個人内評価し、児童・生徒に言葉で伝えていきます。 ○道徳科における学習を充実させるとともに、キャリア・パスポートを活用し、自分自身を振り返る活動を効果的に取り入れていくことで自己肯定感の向上を目指していきたいと考えています。	
			目標	(基準値) 82.2%					(目標値) 84.0%			実績
プラン4 体力の向上と健康の増進 【体】	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上等、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上を図ります。	体力合計点（小学校第6学年男女） ◎東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	持久力、筋力、柔軟性など総合的な体力の向上をめざし、東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の体力テストによる小学校第6学年男女の体力合計点を成果指標として設定します。 令和5年度には、男子は平成30年度までの過去10年の最高値である平成23年度の60.62点を目標値とし、女子は平成30年度の東京都の平均点である61.68点を目標値として取り組みます。	○成果指標の令和2年度実績数値は男子60.31点、女子61.91点（※2）で、令和元年度の男子59.52点、女子60.84点に対し、男子は0.79点、女子は1.07点上昇しました。これは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、実施校においてコロナ禍においてもできる体力向上の取組を行った結果であると考えています。 ○令和2年度は、令和元年度体力調査実施報告書を改善し、体力向上プログラムを作成しました。令和3年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の実施にあたっては、体力向上プログラムを各校が参考にし、体力向上の取組の徹底を十分に図り、成果につなげていきたいと考えています。	
			目標	(基準値) 男子 60.31点 女子 61.65点					(目標値) 男子 60.62点 女子 61.68点			実績

プラン区分	目標		成果指標						成果指標の説明	令和2年度 成果指標の実績評価 (成果・課題等)	
			年度	H30	R1	R2	R3	R4			R5
プラン5 魅力ある教育環境づくり 【学校・教職員】	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていたか」及び「子どもたち一人ひとりの活動が充実していたか」に「とてもあてはまる」と答えた割合 ◎保護者による授業評価	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	児童・生徒の学校生活の基本となる授業において、各学校が保護者・地域への授業公開時に実施するアンケートの共通項目である「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」及び「子どもたち一人ひとりの活動が充実していた。」に「とてもあてはまる」と回答をした割合を成果指標として設定し、教員の指導力向上、授業の改善・充実を図ります。	○成果指標の令和2年度実績数値は63.78%（※3）で、令和元年度の61.29%に対し、2.49ポイント上昇しました。令和2年度の数値は、学校公開を実施した学校のための調査のため、単純に比較はできませんが、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、ICT機器をはじめとして、指導法を工夫し、子どもたちにとって分かりやすい授業を行ったこと結果であると考えられます。 ○今後は全ての授業において、1人1台タブレット端末及び電子黒板等のICT機器を活用し、補足資料の充実などとともに、新たに配置したICT教育推進専門員による巡回指導及び各校のICT活用推進リーダーを活用した教員の指導力向上、授業の改善・充実を図ります。
			目標	(基準値) 60.59%	→						
			実績	61.29%	63.78% (※3)						
プラン6 学校・家庭・地域が一体となつてとすすめる教育 【学校・家庭・地域】	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現をめざします。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みをつくります。区民が生涯を通じて学び続ける拠点として図書館機能の充実を図り、学び合いによる地域づくりを進めます。また、地域の歴史・文化資源の保護、活用を進めます。	学校支援地域本部の事業に参加したボランティアの数	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	学校支援地域本部の事業に参加した地域ボランティアの数をみると、平成26年度はおよそ2万5,000人でしたが、平成27年度は大幅に増加して4万人を超えています。その後も増加していき、平成30年度は約5万8,000人となっています。今後も、学校と地域をつなぐパイプ役である学校支援コーディネーターのスキル向上を図るとともに、地域に学校支援地域本部活動を周知し、地域ボランティアの一層の増加を図ります。	○令和2年度の学校支援地域本部の事業に参加したボランティアの数は30,326人で、令和元年度の53,292人から22,966人減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により学校支援地域本部の活動が縮小されたことによるものと考えています。 ○このような状況の中でも、各校のコーディネーターを中心に、地域の方や保護者の協力のもと実施された事業もあります。今後は、感染症対策を十分に講じたうえでコーディネーターのスキルアップや情報提供等、学校支援地域本部活動の活発化に努めます。
			目標	(基準値) 57,753人	→						
			実績	53,292人	30,326人						

プラン区分	目標	成果指標						成果指標の説明	令和2年度 成果指標の実績評価 (成果・課題等)
		年度	H30	R1	R2	R3	R4		
	「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に「あてはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合 (小学校第6学年) ◎全国学力・学習状況調査	目標	(基準値) 49.9%					(目標値) 51.1%	<p>地域の行事に参加することを通して、地域に対する愛着が深まり、魅力ある地域を創造していこうとする素地が養われます。平成30年度の全国学力・学習状況調査では「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は49.9%でした。同調査では、全国62.7%、東京都51.1%であり、全国及び東京都の平均値を下回っています。地域の課題を進んで解決しようとする、区民が育つよう、全国学力・学習状況調査の「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目に肯定的に回答する小学校第6学年の割合を成果指標として設定し、令和元年度の実績を保てるように、引き続き取り組んでいきます。</p> <p>○令和2年度は全国学力・学習状況調査が中止となったため、実績を数値で把握することができませんでした。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事が中止となったり、人流抑制の観点から地域行事への参加を自粛したりする傾向が見られました。感染症が収まるまでは、直接的な参加や交流は難しい状況にありますが、インターネットを活用した交流など、新しい手段によるつながりを模索しています。</p> <p>○今後も引き続き、学校は地域活動を行う団体と一層の連携・共同を図るとともに、児童・生徒に地域行事及び生徒の地域ボランティアとしての参加を呼びかけていきます。</p>
		実績	53.9%	未実施					

※1 全国学力・学習状況調査中止のため、大田区教育委員会が調査を実施。

※2 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査中止のため、大田区教育委員会が希望校のみ調査を実施。

※3 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校公開を実施した学校のみ実施。

おおた教育ビジョン事業一覧（総括表）

【凡例】 計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止（予定）…× 計画を上回る進捗で実施…☆

プラン名	通番	事業名	実績・計画				担当所属
			2年度実績	3年度計画	4年度計画	5年度計画	
プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成（未来）	1	小学生漢字検定	○	○	○	○	指導課
	2	作文指導教材	○	○	○	○	指導課
	3	読書活動	○	○	○	○	指導課
	4	英語教育	○	○	○	○	指導課
	5	外国語教育指導員	○	○	○	○	指導課
	6	習熟度別少人数指導	○	○	○	○	指導課
	7	理科教育推進拠点校	○	○	○	○	指導課
	8	子ども科学教室	△	○	○	○	指導課
	9	小中学校理科授業力向上研修	△	○	○	○	指導課
	10	ものづくり学習	○	○	○	○	指導課
	11	ものづくり科学スクール	△	△	○	○	指導課
	12	電子黒板・タブレット・デジタル教科書などICT機器の配備	☆	☆	○	○	学務課・指導課
	13	教員のICT活用研修	○	○	○	○	学務課・指導課
	14	プログラミング教育	○	○	○	○	指導課
	15	人権教育	△	○	○	○	指導課
	16	道徳授業地区公開講座	△	○	○	○	指導課
	17	体験的な英語活動	○	○	○	○	指導課
	18	中学校生徒海外派遣	△	△	○	○	指導課
	19	中学校特別支援教室（サポートルーム）設置	○	○	○	○	学務課
	20	日本語特別指導（初期指導）	○	○	○	○	指導課
	21	日本語学級（蒲田小・中）	○	○	○	○	学務課
	22	食育推進チームによる指導	○	○	○	○	指導課
	23	がん教育（喫煙防止など）	○	○	○	○	学務課・指導課
	24	体育・健康教育授業地区公開講座	△	○	○	○	指導課

プラン名	通番	事業名	実績・計画				担当所属
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画	
プラン2 学力の向上 【知】	25	大田区学習効果測定	○	○	○	○	指導課
	26	学習カルテに基づいた学習カウンセリング	○	○	○	○	指導課
	27	補習教室	○	○	○	○	指導課
	28	小中一貫の視点に立った学習指導	○	○	○	○	指導課
	29	教育研究推進校での実践的研究	△	○	○	○	指導課
	30	職場体験	△	○	○	○	指導課
	31	小・中学校連合行事（小学校連合音楽会、中学校連合学芸会など）	×	○	○	○	指導課
プラン3 【徳】 豊かな心の育成	32	道徳教育推進教師連絡協議会	○	○	○	○	指導課
	33	小中一貫の視点に立った道徳教育	○	○	○	○	指導課
	34	移動教室の実施及び再構築	×	○	○	○	学務課
	35	音楽鑑賞教室(小学校)とオーケストラ鑑賞教室(中学校)	×	×	○	○	指導課
	36	幼稚園教諭・保育士合同研修の実施と園内研修（公開保育及び協議会）の拡充支援	△	△	○	○	幼児教育センター
	37	保幼小地域連携協議会の開催と保幼小連携合同研修	△	○	○	○	幼児教育センター
	38	規範意識向上プログラム	○	○	○	○	指導課
プラン4 健康の増進 【体】 体力の向上と	39	大田区小学生駅伝大会	×	○	○	○	指導課
	40	中学生「東京駅伝」大会	×	×	×	×	指導課
	41	体育指導と外遊び	○	○	○	○	指導課
	42	幼児期運動指導（運動遊び指導）リーダー保育者養成研修と保幼小連携運動遊び指導者研修	×	○	○	○	幼児教育センター
	43	親子運動遊び講座（家庭教育支援講座）	×	×	○	○	幼児教育センター
	44	早寝、早起き、朝ごはん月間	○	○	○	○	指導課
	45	子どもの健康づくり教室	○	○	○	○	学務課



プラン名	通番	事業名	実績・計画				担当所属
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画	
プラン5 魅力ある教育環境づくり 〔学校・教職員〕	46	夏季休業中の専門性向上ウィーク	×	○	○	○	指導課
	47	問題行動対応サポートチームと生活指導支援員	○	○	○	○	指導課
	48	夏休等取得推進日	○	○	○	○	指導課
	49	副校長アシスタント	○	○	○	○	指導課
	50	部活動指導員と部活動校外指導員	○	○	○	○	指導課
	51	養護教諭補助	○	○	○	○	指導課
	52	読書学習司書	○	○	○	○	指導課
	53	学校図書館の支援	△	○	○	○	大田図書館
	54①	学校施設の改築 (大森第四小学校)	○	○			教育総務課
	54②	学校施設の改築 (入新井第一小学校)	○	○	○	○	教育総務課
	54③	学校施設の改築 (大森第七中学校)	○	○	☆		教育総務課
	54④	学校施設の改築 (東調布第三小学校)	△	○	○	○	教育総務課
	54⑤	学校施設の改築 (赤松小学校)	○	○	○	○	教育総務課
	54⑥	学校施設の改築 (田園調布小学校)	△	△	△	△	教育総務課
	54⑦	学校施設の改築 (東調布中学校)	△	△	△	△	教育総務課
	54⑧	学校施設の改築 (矢口西小学校)	○	△	△	○	教育総務課
	54⑨	学校施設の改築 (安方中学校)	○	△	△	○	教育総務課
	54⑩	学校施設の改築 (馬込第三小学校)	△	△	△	○	教育総務課
	54⑪	学校施設の改築 (入新井第二小学校)	△	△	△	○	教育総務課
	54⑫	学校施設の改築 (北糀谷小学校)	△	△	△	△	教育総務課
	54⑬	学校施設の改築 (馬込東中学校)	△	△	△	△	教育総務課
	54⑭	学校施設の改築 (萩中小学校)		△	△	△	教育総務課
	54⑮	学校施設の改築 (中萩中小学校)		△	△	△	教育総務課
	55	学校の体育館への空調設備の整備	○	○	○	○	教育総務課
	56	トイレの洋式化	○	○	○	○	教育総務課
	57	学校特別支援員	○	○	○	○	学務課・指導課



プラン名	通番	事業名	実績・計画				担当所属
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画	
	58	特別支援教育関連研修	○	○	○	○	学務課・指導課
	59	医療的ケアの必要な児童・生徒への支援	○	○	○	○	学務課・指導課
	60	特別支援学級の設置	○	○	○	○	学務課・指導課
	61	通級指導学級の指導	○	○	○	○	学務課・指導課
	62	特別支援教室（サポートルーム）の指導	○	○	○	○	学務課・指導課
	63	子どもの心サポート月間と学校生活調査	○	○	○	○	指導課
	64	学級集団調査	○	○	○	○	指導課
	65	いじめ防止対策	☆	☆	○	○	指導課
	66	登校支援員	○	○	○	○	指導課
	67	教育相談員の学校訪問・ケース支援	○	○	○	○	教育センター
	68	適応指導教室での学習指導	○	○	○	○	教育センター
	69	学校給食における食物アレルギーへの対応	○	○	○	○	学務課
プラン6 とともにすすめる学校・家庭・地域が一体となつて	70	学校支援コーディネーターの研修等と学校支援地域本部間の連携・情報の共有化	△	○	○	○	教育総務課
	71	学校施設開放事業	△	△	△	△	教育総務課
	72	放課後の児童の居場所づくり（放課後ひろば）	○	○	○	○	教育総務課
	73	家庭・地域教育力向上支援事業	△	○	○	○	教育総務課
	74	家庭教育学習会	△	○	○	○	教育総務課
	75	PTA活動と連携した家庭教育支援	△	○	○	○	教育総務課
	76	ペアレントトレーニング	×	○	○	○	教育センター
	77	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの体制充実	○	○	○	○	教育センター
	78	教育相談体制の強化	○	○	○	○	教育センター
	79	保護者（家庭）からの相談（電話・来室相談）と就学前機関からの相談	△	○	○	○	幼児教育センター
	80	図書館のICT化	○	○	○	○	大田図書館
	81	池上図書館の移転	○	○	○	○	大田図書館

「評価事業」実績・評価・計画一覧

**プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成 【未来】**

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
1	小学生漢字検定	小学校の全児童を対象に習熟度合いの把握や目標設定の機会として漢字検定を実施し、日本語の重要な要素である漢字の基礎・基本の確実な定着を図ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							
2	作文指導教材	作文指導教材「書くって楽しいね」を効果的に活用し、文章を書くことに親しみ、楽しさを知ること、全児童の「書く力」の向上を図ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		改訂   実施         継続							
3	読書活動	各学校で読書指導計画を作成し、読書の時間や機会の確保、読書週間の取組など、児童・生徒の発達段階に応じた読書活動の充実と読解力の向上を図ります。 読書学習司書は、司書教諭を補助するとともに、学校図書館を活用した教育活動の企画や教員が図書資料を駆使した授業を行う際の補助業務を行い、学校での読書活動、学習活動を充実します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
4	英語教育	中学校第3学年生徒の実用英語技能検定3級の取得率を向上させ、英語による読み書き、リスニング、会話といった包括的なコミュニケーション能力の向上を図ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●	→	→	→			→
5	外国語教育指導員	外国人の外国語教育指導員を配置して、ネイティブ・スピーカーの英語に触れることにより、小学校全児童及び中学校全生徒を対象に、日常的な会話や簡単な情報交換等ができるよう実践的コミュニケーション能力を培います。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●	→	→	→			→
6	習熟度別少人数指導	英語、算数、数学では、児童・生徒の習熟度に応じて少人数学級を編成し指導を行い、児童・生徒一人ひとりの基礎学力を確実に定着させます。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●	→	→	→			→

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
7	理科教育推進拠点校	文部科学省教育課程特例校としての「サイエンスコミュニケーション科」、おおたサイエンススクール（理科教育研究推進校）の成果を生かし、区内小学校3校を理科教育推進拠点校として指定します。理科支援員の活用など、取組の成果を全小学校と共有し教育活動に生かすことで、理科好きな児童の育成を図ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		準備	→	実施	→	→			継続
8	子ども科学教室	児童・生徒の科学的思考力や科学に対する探究心を育成するための事業として実施し、身の回りの自然現象に直接触れることを通し、自然に対する興味・関心を高めるなど科学教育の振興を図ります。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期は中止しました。2学期以降は感染症対策を行い、募集人数を半数にして実施しましたが、当初予定していた内容は全て網羅できています。 また、身の回りの自然現象に直接触れることを通し、自然に対する興味・関心を高める授業を推進するため、小学校理科教育指導員の巡回指導等で指導・助言を行っています。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	→	→	→	→			継続
9	小中学校理科授業力向上研修	教員の指導力向上を図るため、小学校では夏季休業中において、外部講師による観察・実験授業の研修会を実施します。中学校では、観察・実験の授業公開を通して、中学校理科教育指導員から指導・助言を受ける研修会を実施します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期の中学校理科授業力向上研修及び夏季休業中の小学校理科授業力向上研修は中止しました。2学期以降の中学校理科授業力向上研修は計画通り実施しました。 教員の指導力向上を図るため、小学校では小学校理科教育指導員の巡回指導等で指導・助言を行っています。また、指導訪問等において中学校理科教育指導員から指導・助言を受ける機会を設けています。さらに、学校からの要請があった場合は、指導主事や指導員を派遣し、指導力向上のための指導・助言を行っています。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	→	→	→	→			継続

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
10	ものづくり学習	「ものづくりのまち」の特色を生かし、町工場などに従事する技術者・技能者の協力を得たものづくり学習を行い、児童・生徒のものづくりへの関心を高め、作ることの喜びや創造性に富み郷土を愛する心を培います。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施				→			継続
11	ものづくり科学スクール	大田区のものづくり教育推進の一環として、身近にある最先端の科学技術に触れさせ、科学工作などを体験させることにより、ものづくりや科学の楽しさを教えます。	△	△	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により1学期は中止しました。2学期以降は感染症対策を行い募集人数を半数にして実施しましたが、当初予定していた内容は全て網羅できています。希望者の多い回については、午前・午後の2回の開催とし、参加者を増やせるように工夫して実施しました。 ○令和3年度計画（実績） 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第1回5月16日（日）、第2回6月13日（日）は中止しました。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施				→			継続
12	電子黒板・タブレット・デジタル教科書などICT機器の配備	ICT環境整備事業の成果を踏まえ、小中学校のICT環境の一層の充実をめざします。 令和2年度から全面実施となる小学校の新学習指導要領における「プログラミング教育」の本格導入などを見据え、小中学校におけるタブレット端末の追加配備や特別教室への大型提示装置など、小中学校のICT機器のさらなる充実を進めます。	☆	☆	○	○	○令和2年度実績 文部科学省のGIGAスクール構想の方針が変更となり、令和2年度補正予算により1人1台端末環境を前倒しで進めることとなりました。 また、学びの保障を進めるため、令和2年10月に「大田区教育ICT化推進計画」を策定しました。 これらを踏まえ、令和3年2月に全小学校児童へ端末を貸与し、各校において家庭学習での活用に向けた指導を行いました。 ○令和3年度計画（実績） 令和3年5月に全中学校生徒へ端末を貸与し、全小中学校での1人1台タブレット端末環境の整備が完了しました。	学務課 指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		充実				→			継続

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
13	教員のICT活用 研修	授業において積極的にICTを活用し、児童・生徒の学力の定着と学ぶ意欲の向上をめざします。そのために、職層に応じた研修を実施し、ICT活用に対する教員の意識を高め、より効果的な活用方法の定着へとつなげます。特に、児童・生徒用タブレット端末の活用方法に関する内容をまとめ、利用率の向上を図るとともに、より効果的な活用につなげます。 また、外部機関との連携を図り、ICTに関する校内研修の充実を図ることや、ICT活用推進リーダーに向けた連絡協議会を実施することで、さらなるICT活用の啓発に取り組みます。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●	→	→	→			→
14	プログラミング 教育	物事をうまく解決する方法や手順を論理的に考えていく「プログラミング的思考」を身に付けるための教育を教科横断的に進めます。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		試行実施	実施	●	→	→			→
15	人権教育	児童・生徒が、人権課題を学ぶことで、自らの権利と義務、自由と責任についての認識を深め、他者の人権を尊重することをはぐくみ、生活の中に生かしていくことができる人権教育を推進します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、人権教育研修会は第1回から第3回までを集合研修からレポート提出へ変更しましたが、当初予定していた内容は全て網羅して実施しました。 さらに、今般の状況を鑑み、感染者や濃厚接触者、医療従事者等に対する誹謗・中傷を行わないことについても人権教育として取り扱いました。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●	→	→	→			→

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
16	道徳授業地区公開講座	保護者や地域住民など誰もが参加できる公開講座を開催します。学校・家庭・地域が道徳教育への共通理解を深め、連携することで、子どもたちが他者を尊重し生命を尊ぶ心を育てます。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に限り、全学級公開という原則を外し、授業公開及び意見交換会以外の形で地域、保護者に向けて学校の道徳教育に対する考え方を伝えることも可能としました。具体的には、学年で一つの授業を公開し、アンケートの実施や、あらかじめ撮影しておいた授業動画を保護者に見ていただき、それに対する意見を募りました。さらに、授業公開及び意見交換の場を設けずに、学校からのお便りとして、道徳教育に関する考え方を保護者、地域に伝え、意見をアンケートで回収するなど実施しました。	指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							●			→	継続
17	体験的な英語活動	外国語教育指導員と英語でのコミュニケーションを楽しむ英語カフェなどを充実します。 体験的な英語活動を通じ、外国の方々と一緒にコミュニケーションを行う態度を育てるとともに、異文化に対する理解の促進を図ります。	○	○	○	○		指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							●			→	継続
18	中学校生徒海外派遣	海外（アメリカ合衆国・セラム市、ドイツ連邦共和国・ブレーメン市）でのホームステイを通して、外国の生活や文化の理解、並びに外国語（英語）の習熟などを図り、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな生徒の育成をめざします。	△	△	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の海外派遣は中止としましたが、国際感覚を育む機会を作るよう、ICT機器やデジタル教科書を活用しながら授業等を充実させました。 ○令和3年度計画 新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の海外派遣は中止としますが、国際感覚を育む機会を作るよう、ICT機器やデジタル教科書を活用しながら授業等を充実させ、学習成果を動画等で記録し派遣地の関係者に見ていただくなどの交流活動を検討します。	指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							●			→	継続

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆



No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
19	中学校特別支援教室 （サポートルーム）設置	東京都発達障害教育推進計画に基づき、令和3年度までに全区立中学校に特別支援教室（サポートルーム）を設置します。	○	○	○	○		学務課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		モデル事業実施   段階実施   全校実施       継続							
20	日本語特別指導 （初期指導）	日本語指導が必要な外国人児童・生徒や、海外から帰国した児童・生徒を対象に個別や小集団による日本語指導を行います。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							
21	日本語学級（蒲田小・中）	区立小中学校に就学している日本語特別指導（初期指導）を終了した児童・生徒に対して、日本語による学習適応力の更なる向上のため学習言語の習得を支援します。	○	○	○	○		学務課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		推進           継続							
22	食育推進チームによる指導	全校に食育推進チームを組織し、学校における食育推進の中核となる食育リーダーを配置します。また、指導の全体計画と各学年の年間指導計画を作成し、実践します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆



No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
23	がん教育（喫煙防止など）	日本人の2人に1人が罹患すると言われているがんについて、現状や発生原因、予防や早期発見の重要性など、正しい知識を身に付けることを目的としたがん教育を充実します。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		充実	→						→
24	体育・健康教育 授業地区公開講座	小学校体育・健康教育の授業公開や体力調査結果の公開を含めて講演会や懇談会を実施することで、子どもの体力向上について考えるとともに、保護者や地域住民への啓発を行います。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に限り、体育・健康教育授業地区公開講座の全校実施という原則を外しました。体育・健康教育授業地区公開講座を未実施の学校では、学校だよりや保護者会等で、自校の取組を紹介し、子どもの体力向上について啓発することで、公開講座の目的を網羅しました。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	→						→

## プラン2 学力の向上 【知】

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
25	大田区学習効果測定	各学校及び教員は、大田区学習効果測定の結果を詳細に分析し、学校の課題及び児童・生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握します。その上で、授業改善推進プランに基づく指導を展開し、学力向上を図ります。 教育委員会は、大田区学習効果測定の結果分析に基づき、大田区における教育課題とその解決策を報告書にまとめ、教員の授業力向上のための研修会や学校支援を行います。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	→	拡充	実施	→			継続
26	学習カルテに基づいた学習カウンセリング	学習カルテを基に、児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について指導し、基礎学力の定着を図ります。 学習カルテを少人数指導のグループ編成や指導内容及び方法の検討、補習教室の教材選定などに効果的に活用し、学びの支援をさらに推進します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施				→			継続
27	補習教室	学習指導講師などを配置し、放課後及び土曜日の補習教室を通して、児童・生徒一人ひとりの基礎学力を確実に定着させます。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	→			→			継続

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
28	小中一貫の視点に立った学習指導	小学校から中学校への円滑な接続を行うため、義務教育を9年間の枠で考え、小中一貫教育プログラムに基づき、一貫した教育を行い、確かな学力の定着を推進します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●						→
29	教育研究推進校での実践的研究	大田区教育委員会教育研究推進校の充実を図るとともに、合同研究発表会（おおたの教育研究発表会）により研究成果を区内に広く普及・啓発し、授業力の向上を図ります。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、おおたの教育研究発表会は中止としましたが、大田区教育委員会教育研究推進校の研究成果は、研究紀要の配布やオンライン発表等で区内の学校に広く普及・啓発し、授業力の向上を図りました。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●						→
30	職場体験	中学校第2学年生徒を対象に3日間以上の職場体験を実施し、職業や進路の選択などに必要な勤労観や職業観を身に付けさせます。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、職場体験は中止としましたが、職業や進路の選択等に必要な勤労観や職業観を身に付けることができるよう、ICT機器やデジタル教科書を活用しながら授業等を充実しました。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●						→
31	小中学校連合行事（小学校連合音楽会、中学校連合学芸会など）	区立小中学校の各学校での取組の成果を発表する場を活用し、児童・生徒及び教員が他校の取組から学ぶ機会をもつことで切磋琢磨し、学習意欲や指導力の向上を図ります。	×	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校連合行事は中止としました。	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●						→

### プラン3 豊かな心の育成 【徳】

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
32	道徳教育推進教師連絡協議会	年間3回道徳教育推進教師連絡協議会を開き、道徳教育、道徳の時間の効果的な指導方法について伝達、協議を行います。うち1回は、学校の夏季休業中を中心として校内伝達研修を行い、道徳教育を着実に推進します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●			→			継続
33	小中一貫の視点に立った道徳教育	小学校から中学校への円滑な接続を行うため、義務教育を9年間の枠で考え、小中一貫教育プログラムに基づき、一貫した教育を行い、規範意識の向上をめざします。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●			→			継続
34	移動教室の実施及び再構築	校外施設などを活用し宿泊を伴う自然体験活動を通じて、他者を思いやるなど、人間関係形成能力などを身に付けます。また、自然を大切に作る心や豊かな情操と感性をはぐくみます。 なお、中学校は令和元年度に移動教室のあり方を検討し、移動教室事業を再構築します。	×	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、移動教室を中止しました。 なお、中学校移動教室事業については、安定的かつ持続的な事業実施が期待できる民間施設を活用した移動教室事業を再構築しました。	学務課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施・検討	実施	●		→			継続

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
35	音楽鑑賞教室 (小学校)とオーケストラ鑑賞教室(中学校)	管弦楽などの生演奏を鑑賞する機会を通じ、音楽の素晴らしさ、楽しさ、美しさなど、音楽の生み出す感動を体験することで、児童・生徒の豊かな感性をはぐくみます。	×	×	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、音楽鑑賞教室及びオーケストラ鑑賞教室は中止しました。 ○令和3年度計画 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、音楽鑑賞教室及びオーケストラ鑑賞教室は中止します。	指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施											→ 継続
36	幼稚園教諭・保育士合同研修の実施と園内研修（公開保育及び協議会）の拡充支援	幼稚園、保育園、母子生活支援施設などの保育者の交流を図りながら、資質向上のための研修を行います。また、保育者の専門性向上をめざして、園の協力のもと公開保育を行うとともに、外部講師のアドバイスを導入した協議会を同時開催し、園内研修の拡充を図ります。	△	△	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園教諭・保育士合同研修は5回中2回は中止し、3回実施しました。なお、中止となった2回については、令和3年度に同じ講師をお呼びして研修を実施します。また、公開保育及び協議会は中止しました。 ○令和3年度計画 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、公開保育及び協議会は中止しますが、幼稚園教諭・保育士合同研修は計画どおり実施します。	幼児教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施											→ 継続
37	保幼小地域連携協議会の開催と保幼小連携合同研修	就学前の子どもたちの豊かな体験が小学校において着実に育つように、就学前機関と小学校が保育、教育内容の相互理解を深め、機関同士の交流及び連携を図ります。また、幼稚園、保育園、小学校の合同研修を通じて、各機関の相互理解を深め、交流・連携を促進することにより、就学前教育と小学校教育との円滑な接続を図ります。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、保幼小地域連携協議会及び保幼小連携合同研修は中止しましたが、保幼小地域連絡協議会で実施する予定だった就学予定児の情報交換については、各園と各学校の間で個別に実施しました。	幼児教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施											→ 継続

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
38	規範意識向上プログラム	幼児教育、小中学校の発達の段階に応じた道徳教育を実施することで、幼児教育期から学校教育期まで体系的に規範意識の育成を図ります。	○	○	○	○		指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続

## プラン4 体力の向上と健康の増進 【体】

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
39	大田区小学生駅伝大会	区立小学校全校の第5・6学年の代表児童たちによる駅伝大会を通して、児童の運動に対する意欲を高め、総合的な体力の向上を図ります。	×	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、大田区小学生駅伝大会は中止しました。	指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続
40	中学生「東京駅伝」大会	区立中学校第2学年の代表生徒が、襷(たすき)をつないで走る駅伝大会を通して、生徒の運動に対する意欲を高め、総合的な体力の向上を図ります。	×	×	×	×	○令和2年度実績、令和3～5年度計画 平成21年度から実施してきた本大会において、中学生の体力向上に向けた気運上昇の原動力となったり、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等における東京都の中学生の体力合計点平均値が、平成21年度当時と比較して大きく向上するなどの成果がありました。東京都はこれらの成果をレガシーとして引き継ぎ、本事業を終了しました。	指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続
41	体育指導と外遊び	小学校第1・2学年の体育指導の充実を図ります。また、中休みの時間の延長など、外遊びの指導による体力向上を図ります。	○	○	○	○		指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続
42	幼児期運動指導（運動遊び指導）リーダー保育者養成研修と保幼小連携運動遊び指導者研修	幼稚園、保育園の保育者に対して、幼児の発達に応じた効果的な運動遊びの理解を深める研修を実施し、効果的な指導方法の普及と実践を進めます。また、就学前から小学校まで一貫した運動遊び指導が実践されるよう、幼稚園、保育園の保育者と小学校教諭が運動遊びの理解を深めるための合同研修会を行います。	×	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児期運動指導リーダー保育者養成研修及び保幼小連携運動遊び指導者研修は中止しました。	幼児教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		充実							実施			→	継続

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
43	親子運動遊び講座（家庭教育支援講座）	親子で楽しく実践できる運動遊びの講座を行い、体を動かす楽しさと適切な生活習慣、運動習慣の重要性について啓発を進めます。	×	×	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、親子運動遊び講座は中止しました。 ○令和3年度計画 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、親子運動遊び講座を中止します。	幼児教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		見直し							実施	→	→	→	継続
44	早寝、早起き、朝ごはん月間	5月と10月を「早寝・早起き・朝ごはん月間」と位置付け、家庭における基本的な生活習慣の啓発を行い、より良い生活習慣を定着させます。	○	○	○	○		指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							→	→	→	継続	
45	子どもの健康づくり教室	児童と保護者を対象に、調理実習や講義を通じて正しい生活習慣を身に付け、生活習慣病を予防するための基礎的な知識の普及を図ります。	○	○	○	○		学務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							→	→	→	継続	



**プラン5 魅力ある教育環境づくり 【学校・教職員】**

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
46	夏季休業中の専門性向上ウィーク	授業改善セミナーを中心に教科などの専門性を高めるための研修を、夏季休業中に集中的に実施し、教員の指導力の向上を図ります。	×	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、授業改善セミナーは中止しました。	指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続
47	問題行動対応サポートチームと生活指導支援員	各地区の拠点校に問題行動対応サポートチームを配置し、児童・生徒の問題行動に対して、経験豊かな人材が巡回し、各学校を支援します。 また、生活指導上の課題を解決し、正常な学校運営を確保するために、生活指導支援員を配置します。学校及び教員を支援し、児童・生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう、校内体制の確立をサポートします。	○	○	○	○		指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続
48	夏休等取得推進日	教職員自身が健康で、心にゆとりをもって児童・生徒と向き合うことができる環境をつくるため、夏季などに1週間程度の「夏休等取得推進日」を設定し、通常の土・日曜日と同じ扱いとすることで、積極的な休暇の取得をめざします。	○	○	○	○		指導課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施										→	継続

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
49	副校長アシスタント	負担の大きい副校長の業務軽減を図るため、副校長を補佐する副校長アシスタントを全校に配置します。副校長の事務補助を行うほか、教員の事務の一部を行うことで教員全体の負担軽減を図ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●			→			継続
50	部活動指導員と部活動校外指導員	部活動の技術指導や大会への引率を職務とする部活動指導員の配置を推進します。このほか地域の人材などを部活動校外指導員として活用し、各中学校の部活動を支援することで、教員の部活動指導の負担軽減を図ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		拡充	●	→	実施	●			→
51	養護教諭補助	養護教諭補助を配置し事務を補助することで、養護教諭が落ち着いて児童・生徒に向き合える時間を作ります。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●			→			継続
52	読書学習司書	読書活動の支援や図書資料などを活用した授業の企画、実施支援などを行う読書学習司書を配置し、児童・生徒の読書活動を推進することで、本に親しむきっかけを作り、読書習慣の定着を促します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施	●			→			継続

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
53	学校図書館の支援	学校支援地域本部や地域ボランティアが行う学校図書館支援に対し、区立図書館が図書館整備の方法や読み聞かせの手法など専門的な立場から助言を行うなど、区立小中学校の図書館整備・運営を支援します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、授業支援等の大人数を対象とする支援は、学校により中止または計画していた時期を変更して実施しました。また、よりよい蔵書構成にするための選書・除籍や、児童・生徒が本を探しやすい図書館整備、読書への興味を喚起する展示等の手法に関しての専門的な立場から助言を行いました。	大田図書館					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		検討							実施				継続
54 ①	学校施設の改築 (大森第四小学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	○	○				教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		改築工事								竣工			
54 ②	学校施設の改築 (入新井第一小学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	○	○	○	○		教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施設計							改築工事				
54 ③	学校施設の改築 (大森第七中学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	○	○	☆		○令和2年度実績 校舎改築工事（Ⅰ期）は、令和2年度に完了しました。 ○令和3～4年度計画 令和3年度から、校舎改築工事（Ⅱ期）に着手します。工事行程を見直した結果、令和4年度に竣工する予定です。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		改築工事										竣工	
54 ④	学校施設の改築 (東調布第三小学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	△	○	○	○	○令和2年度実績 基本設計の見直しは、令和2年度に完了しました。 ○令和3～5年度計画 令和3年度は実施設計を実施し、令和4年度から改築工事に着手する予定です。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施設計									改築工事		

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画		
54 ⑤	学校施設の改築 (赤松小学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	○	○	○	○		教育総務課
		元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度～						
		実施設計 改築工事 →						
54 ⑥	学校施設の改築 (田園調布小学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	△	△	△	△	○令和2年度実績 基本計画の内容を補完するために基礎調査を実施しました。 ○令和3～5年度計画 令和3年度から令和5年度にかけて、基本設計及び実施設計を実施し、令和6年度から改築工事に着手する予定です。	教育総務課
		元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度～						
		基本設計 → 実施設計 改築工事 →						
54 ⑦	学校施設の改築 (東調布中学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	△	△	△	△	○令和2年度実績 基本計画の内容を補完するために基礎調査を実施しました。 ○令和3～5年度計画 令和3年度から令和5年度にかけて、基本設計及び実施設計を実施し、令和6年度から改築工事に着手する予定です。	教育総務課
		元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度～						
		基本設計 → 実施設計 改築工事 →						
54 ⑧	学校施設の改築 (矢口西小学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	○	△	△	○	○令和2年度実績、令和3～5年度計画 令和2年度から令和4年度にかけて、基本設計及び実施設計を実施し、令和5年度から改築工事に着手する予定です。	教育総務課
		元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度～						
		基本計画 基本設計 実施設計 改築工事 →						
54 ⑨	学校施設の改築 (安方中学校)	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。	○	△	△	○	○令和2年度実績、令和3～5年度計画 令和2年度から令和4年度にかけて、基本設計及び実施設計を実施し、令和5年度から改築工事に着手する予定です。	教育総務課
		元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度～						
		基本計画 基本設計 実施設計 改築工事 →						

No.	事業名	事業内容及びスケジュール						実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課
								2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画		
54 ⑩	学校施設の改築 （馬込第三小学校）	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。						△	△	△	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、基本設計の着手に遅れが生じました。 ○令和3～4年度計画 令和3年度から基本設計に着手し、令和4年度は、実施設計に着手する予定です。	教育総務課
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～						
		基本計画	基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	実施設計 改築工事	改築工事	→						
54 ⑪	学校施設の改築 （入新井第二小学校）	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。						△	△	△	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、基本設計の着手に遅れが生じました。 ○令和3～4年度計画 令和3年度から基本設計に着手し、令和4年度は、実施設計に着手する予定です。	教育総務課
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～						
		基本計画	基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	実施設計 改築工事	改築工事	→						
54 ⑫	学校施設の改築 （北糀谷小学校）	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。						△	△	△	△	○令和2年度実績 基本計画策定に向けて、学校改築手法の検討として事前調査を実施しました。 ○令和3～5年度計画 令和3年度は、事前調査結果を踏まえ引き続き改築手法の検討を行います。令和4年度以降は、基本計画の策定に向けて取り組んでいきます。	教育総務課
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～						
			基本計画	基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	実施設計 改築工事	改築工事						
54 ⑬	学校施設の改築 （馬込東中学校）	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。						△	△	△	△	○令和2年度実績 学校改築手法を検討するための基礎調査を実施しました。 ○令和3～5年度計画 令和3年度は、基礎調査を踏まえて学校改築手法の事前調査を実施します。令和4年度以降は、事前調査結果を踏まえて引き続き改築手法の検討に取り組んでいきます。	教育総務課
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～						
			基本計画	基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	実施設計 改築工事	改築工事						

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
54 ⑭	学校施設の改築 （萩中小学校）	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。		△	△	△	○令和3～5年度計画 令和3年度以降、基本計画の策定に向けて学校改築手法の事前調査に取り組んでいきます。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
										基本計画	基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	実施設計 改築工事
54 ⑮	学校施設の改築 （中萩中小学校）	今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。		△	△	△	○令和3～5年度計画 令和3年度以降、基本計画の策定に向けて学校改築手法の事前調査に取り組んでいきます。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
										基本計画	基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	実施設計 改築工事
55	学校の体育館への空調設備の整備	児童・生徒の健康と安全な教育環境を守るため、体育館の空調設備の整備を推進します。また、防災拠点としての環境整備を進めます。	○	○	○	○		教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		推進							→			→	継続
56	トイレの洋式化	快適な衛生環境整備のため、小中学校のトイレの洋便器化を計画的に進めます。	○	○	○	○		教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		推進							→			→	継続

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
57	学校特別支援員	学校及び教育委員会が、校内外の人的資源を活用することにより、困難さへの対応が可能と思われる児童・生徒について、その指導にあたる教員を支援するため、学校特別支援員を配置します。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							
58	特別支援教育関連研修	全ての教員が特別支援教育についての理解を深め、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動を推進することや、特別支援教育コーディネーターの推進力を高め、各校の校内支援体制や副籍交流などの充実を図るための研修を実施します。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		充実           継続							
59	医療的ケアが必要な児童・生徒への支援	就学相談や就学时健康診断などの機会をとらえて、医療的ケアが必要な児童・生徒の把握を行い、適切な支援が行えるよう、学校や関係部局との連携を進めます。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		連携推進           継続							
60	特別支援学級の設置	特別支援学級では、知的障がいなど、児童・生徒のそれぞれの特性に応じたきめ細かな指導を行います。今後も児童・生徒数の推移に注視し、適正な規模の特別支援学級の設置に取り組みます。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		小中学校各1校新設(固定学級)   検討・推進         継続							



No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
61	通級指導学級の指導	特別支援教育研修会などにおける実践報告、授業公開及び研究授業や、都立特別支援学校のセンター的機能を活用した巡回相談や継続的な支援を通して、指導内容を充実します。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		充実   →   →   →   →   継続							
62	特別支援教室（サポートルーム）の指導	発達障がいのある児童・生徒に対する指導事例集やタブレット端末にインストールされているデジタルMIMなどのアプリケーションの活用、発達障がい支援アドバイザーによる指導・助言、巡回指導教員連絡協議会や拠点校内のOJTなどを通して、指導内容の充実を図ります。	○	○	○	○		学務課 指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施(小)   →   →   →   →   継続 モデル事業   →   全面実施   →   →   継続 実施(中)   →   (中)   →   →							
63	子どもの心サポート月間と学校生活調査	6月と11月を「子どもの心サポート月間」に位置付け、区立小学校第4学年の児童から区立中学校第3学年の生徒を対象に学校生活調査を実施し、その結果から必要に応じて児童・生徒に個別面談などを行い、適切かつ組織的な対応を行います。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施   →   →   →   →   継続							



No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
64	学級集団調査	子どもたちの学校生活が楽しいものとなるように、学級集団調査を活用し、教員が学級の実態を把握します。これまでの指導に調査結果を加味することで、問題解決に向けた学級づくりや授業の工夫につなげます。	○	○	○	○		指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施							→ 継続
65	いじめ防止対策	各学校は、いじめ防止のための組織を設置するとともに、基本方針を策定します。また、家庭や地域との連携により、未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処の4つの視点でいじめ防止対策に取り組みます。 教育委員会は、「大田区いじめ防止基本方針」を遵守し、学校におけるいじめ防止などに必要な指導・支援を行います。また、重大事態などが発生した場合には、教育委員会に調査委員会を設置するなど、迅速かつ的確に対処します。	☆	☆	○	○	○令和2年度実績、令和3年度計画 いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、令和3年3月に大田区いじめ防止対策推進条例を制定、同年4月1日から施行しました。条例に基づき、令和3年には大田区いじめ問題対策委員会を常設で設置します。 また、条例の施行に基づき、大田区いじめ防止基本方針を改正しました。主な改正は次のとおりです。 ・学校における取組として、学校いじめ対策組織やその活動を児童・生徒及び保護者に周知すること ・大田区におけるいじめ問題対策の取組として、大田区いじめ問題対策連絡協議会を設置すること ・教育委員会の附属機関として、大田区いじめ問題対策委員会を設置すること ・区長が学校で発生した重大事態の調査報告を受け、再調査が必要であると判断した場合、区長の附属機関として大田区いじめ問題再調査委員会を設置し、調査を行うことができること	指導課	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			6年度～
		実施							→ 継続

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課	
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画			
66	登校支援員	登校をためらうなど、不登校の予兆を見せる児童・生徒に対して、顔見知りの支援員が家まで迎えに行ったり、別室対応を行うなど、登校支援員の配置を充実します。	○	○	○	○		指導課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							
67	教育相談員の学校訪問・ケース支援	教育相談員が定期的に学校を訪問し、学校不適應の児童・生徒の状況を把握するとともに、学校に対する助言など、早期支援を行います。また、不登校状態の児童・生徒に対するケース支援を充実します。	○	○	○	○		教育センター	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							
68	適応指導教室での学習指導	不登校状態の児童・生徒に対する学習指導を充実させるため、適応指導教室「つばさ」に学習指導講師を派遣し、早期に在籍校に復帰できるよう学習支援を行います。	○	○	○	○		教育センター	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		実施           継続							
69	学校給食における食物アレルギーへの対応	食物アレルギー対応が必要となる児童・生徒への学校給食の提供にあたり、大田区食物アレルギー対応基本方針に基づいた危機管理体制を構築するとともに保護者との情報共有・連携を強化し、食物アレルギー事故防止の徹底を図ります。	○	○	○	○		学務課	
		元年度   2年度   3年度   4年度   5年度   6年度～							
		充実   実施   検証   実施     見直し							

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

**プラン6 学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育 【学校・家庭・地域】**

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
70	学校支援コーディネーターの研修等と学校支援地域本部間の連携・情報の共有化	学校支援地域本部の事業が円滑に運営されるよう、学校支援コーディネーターに対する研修や交流会を実施し、コーディネーターのスキルアップを図ります。また、研修などを行う中で、コーディネーター同士の交流を深め、学校支援地域本部間の連携と情報の共有を図ります。 その他、新たな取組への参考となるよう、各学校の取組を紹介する情報紙を発行します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、新任研修会、コーディネーター交流会及び事務説明会を中止としましたが、代替措置として、チラシや動画配信を活用して情報交換の機会を作りました。 秋のコーディネーター研修会は規模を縮小して実施しました。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		充実											→ 継続
71	学校施設開放事業	身近な学習、文化、スポーツの場として地域団体に利用されている学校施設の一層の開放を図る方策や、貸出における学校負担を軽減することができる貸出方法の見直しを検討し、開放事業の充実をめざします。	△	△	△	△	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月1日～9月18日まで学校施設開放事業を中止しました。再開にあたっては、新たに感染防止対策チェックリストの提出や使用後の消毒を徹底するなど、感染防止対策を講じた上で事業を実施しました。 ○令和3～5年度計画 コロナ禍における学校施設の貸出方法及び学校負担の軽減について再度見直し、今後の方向性について調査・検討します。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		調査検討							準備	試行実施			→ 継続
72	放課後の児童の居場所づくり（放課後ひろば）	小学校を活用した放課後の児童の安全・安心な居場所づくりとして、学童保育と放課後子ども教室を一体的に行う「放課後ひろば」を実施します。学校支援地域本部をはじめとする地域の協力を得て、各学校の充実を図ります。	○	○	○	○		教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		志茂田小開設							充実	→	大森四小開設	充実	継続

【凡例】計画通り実施…○ 実施内容変更…△ 中止(予定)…× 計画を上回る進捗で実施…☆

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
73	家庭・地域教育 力向上支援事業	PTAや地域の子どもに関する活動を行う団体に委託し、家庭や地域における子どもの教育に関わる講演会や学習会を実施します。テーマは子どもに関する課題を団体が選び、参加しやすい身近な場所で講演会などを開催することを支援します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習活動を自粛する団体が多く、申請数は令和元年度の19団体から大幅に減少し、2団体となりました。感染拡大状況を考慮し、感染症対策を講じた学習方法や運営方法などの相談に応じながら講座を実施しました。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		充実							→				継続
74	家庭教育学習会	小学生や中学生の保護者を対象とし、テーマごとの学習会や講演会などを実施し、家庭教育についての学習機会を広げます。 また、次年度小学校入学児童の保護者を対象に、子どもの小学校生活がより充実したものになるための家庭や親の役割についての学習会を実施します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭教育講演会（1講座）、家庭教育学習会（2講座）を中止しました。 次年度小学校入学児童の保護者を対象にした学習会（学校デビュー応援プログラム）と入学後の低学年の保護者を対象にした学習会については、実施回数や参加者定員など、規模を縮小して実施しました。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		充実							→				継続
75	PTA活動と連携 した家庭教育支援	小中学生の保護者が参加し、家庭・学校・地域社会をつなぐ役割を担うPTAと連携した家庭教育の支援を検討します。PTAの実情に応じて、保護者同士が互いに家庭教育の悩みや課題について話し合う場を設けるなど、保護者を孤立させず、相談し合える関係づくりなどを行うことによって、個々の家庭の支援を推進します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 小学校入学を控えた児童の保護者を対象とした家庭教育学習会では、実施会場校のPTA会員が、先輩保護者としての経験談を話す機会を設けました。新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施しましたが、保護者同士や地域、学校との関係づくりの事例紹介により、個々の家庭教育の支援を進めました。	教育総務課					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		調査検討							→	試行実施	実施	←	→

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
76	ペアレントトレーニング	発達障がい（ADHD、LD、自閉的傾向など）のある小学校の子どもを保護者を対象として、グループ討議を通して学ぶ学習会を開催します。保護者が子どもを正しく理解し、子どもとの好ましいかわり方を身に付け、子どもが家庭生活はもとより学校生活においても、より適切な行動ができるよう支援します。	×	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての回を中止しました。第1期はすでに受講者を決定していたため、希望者は令和3年度に受講できるよう配慮しました。	教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							●				→
77	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの体制充実	スクールカウンセラーを区立小中学校・館山さざなみ学校に配置し、児童・生徒・保護者・教職員などからの相談に対応します。児童・生徒の学校不適応の早期発見・早期解決や児童・生徒の心の安定のため、学校内の教育相談体制を強化します。また経済的困窮や養育上の困難など、学校だけでは解決が困難な課題がある児童・生徒とその家庭をスクールソーシャルワーカーが支援します。	○	○	○	○		教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							●				→
78	教育相談体制の強化	学校不適応など教育相談の件数増や中学校の特別支援教室（サポートルーム）の実施などに伴う心理検査の需要の増加に対応できるよう、心理職の教育相談員による相談体制を強化します。相談で得られた知見を蓄積し、円滑で安定した心理検査の実施や教育相談の充実を図ります。	○	○	○	○		教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施							●				→

No.	事業名	事業内容及びスケジュール	実績・計画				説明（変更・中止の理由、変更内容・代替措置等） ※すべて○の場合は記載なし	担当課					
			2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画	5年度 計画							
79	保護者（家庭）からの相談（電話・来室相談）と就学前機関からの相談	幼児の保護者（家庭）からの相談に電話や来室（面談）により対応します。また、就学前機関の要請に基づき、当該園を訪問して、学級運営上の相談に対応します。	△	○	○	○	○令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により、来室相談及び訪問相談を4月から5月まで中止し、6月から再開しました。 新型コロナウイルス感染症の影響による相談件数や相談内容の影響は明確には表れませんでした。外出自粛等が長期化する中で、影響等を注視しながら相談に対応しました。	幼児教育センター					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施											→ 継続
80	図書館のICT化	インターネット時代の多様な利用形態に対応するため、利便性の向上と業務の効率化を目的としたICタグの導入などを実施します。	○	○	○	○		大田図書館					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		準備							設置	実施			→ 継続
81	池上図書館の移転	池上駅直上駅ビル内に図書館を整備し、駅ビルという立地を生かした機能性に優れた新しい図書館を構築します。	○	○	○	○		大田図書館					
		元年度							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度～
		実施設計							改築工事 移転開設	運営			→ 継続

## II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る有識者意見

東京聖栄大学教授 有村久春

### 【プロフィール】

- ・公立小学校教員、東京都教育委員会指導主事、昭和女子大学教授、岐阜大学教授、帝京科学大学教授等を経る
- ・学校カウンセラー、ガイダンス・カウンセラー
- ・新おおた教育振興プラン策定懇談会委員

### プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】について

【当該プランに対する評価】本プラン1は、大田区の教育の基礎基本です。24の事業すべてが5年度までの計画で着実に推進される必要があります。これら個々の具現化はまさしく未来社会を創造的に生きる子どもの育成そのものです。義務教育の保障であり、その証左でもあります。今日のコロナ禍により若干の変更等があるものの(子ども科学教室など)、およそ目標達成の状況にあると思われまます。また、喫緊の課題対応が求められるICT活用に関する事業に積極的に取り組んでいることうれしく思います。子ども個々の学力保障の上からもその実施状況を分析し、エビデンスのある方向性と課題克服に期待したいところです。

### 個別事業に対する意見

事業名	12 電子黒板・タブレット・デジタル教科書などICT機器の配備
意見	今日のコロナ禍により、文科省のGIGAスクール構想が前倒しになったことで、その対応が急務であったと思われまます。言うまでもないことですが、この事業はタブレット端末の配置が目的ではありません。それを子どもたちが積極的に活用すること、そのツール活用によるより充実した学習活動の展開およびその成果が求められなければなりません。13や14の事業の充実とも連動させた実効的な推進が不可欠です。目的はく子ども個々の学びとく次代を生きる能力形成にほかなりません。 ※13(教員のICT活用研修)、14(プログラミング教育)
事業名	16 道徳授業地区公開講座
意見	道徳教育は、子どもの自己成長に資することはもとより、他者と協働して未来社会を生きる精神的支柱になるものです。今次の学習指導要領改訂により、「道徳の教科化」がなされています。本事業のさらなる充実を図り、週1回の道徳授業が実質的なレベルアップに資することを期待します。単に、教科化されたから授業を行う、との発想に陥ることは避けたいところです。令和2年度はコロナの影響で本事業の内容等の変更を余儀なくされたと思われまます。本公開講座の実施に教師個々が実践的に学び、道徳の価値をすべての大田の子が修得することを願っています。



## プラン2 学力の向上【知】について

【当該プランに対する評価】プラン2は、プラン1の具現化の中核です。いわゆる「学力」の数値的判断（測定学力）は、子ども個々の学びの形成（形成学力）を濁らせてしまいます。実績によると（大田区学習効果測定）、令和2年度は前年度比1.9ポイント減とのこと、コロナ禍で学びの場が減少したことが要因でしょう。しかし、そこにある圧迫感・無力感が子どもの学びを失わせているでしょう。子どもの学力形成に生活環境のあり様が少なからず関与することを物語る事態です。この状況を私たち（先生・保護者・行政関係者）が謙虚にみつめ、この不測の事態とその不条理に向き合い、子どもの学びの維持を保障する方策を考えたいところです。

### 個別事業に対する意見

事業名	25 大田区学習効果測定
意見	<p>本事業の推進及びその成果は、大田区の教育課題の分析等に大きく寄与しているものと思います。子ども個々の学びの意欲や教員の授業力向上、各学校の研修活動の活性化など多様な効果を読み取ることができます。今後のさらなる＜実施・拡充・継続＞に期待をします。この測定結果の分析と活用にあたって、16・27・28・29の事業との関係性に着目してほしいと思います。単に25の事業分析だけでは、大田区の子供たちの確かな学力（真の学び）の把握には至らない面があるように思われます。また、プラン1の各事業との関連も重要であると考えます。</p> <p>※16（道徳授業地区公開講座）、27（補習教室）、 28（小中一貫の視点に立った学習指導）、29（教育研究推進校での実践的研究）</p>
事業名	28 小中一貫の視点に立った学習指導
意見	<p>「大田の教育概要」P20に示されるように、本事業は義務教育の質的保障（確かな学力と人間力）の上では至極当然のことです。これに関する研究校の成果が区全小中学校にどのようなカタチで実績化・定着化しているのか、その検証が求められるところです。6歳から15歳の子どもたちの心身発達や学習課題等の関連から精緻な分析と考察を令和3年度以降の事業推進に活かすことが重要だと考えます。単に＜一貫＞に意味があるとの発想から、子どもの成長発達に適しているか、小中の指導実態や教師の教育観の差異などの視点からの分析成果を期待するところです。</p>



### プラン3 豊かな心の育成【徳】について

【当該プランに対する評価】いわゆる「徳育」をみる指標として、自己肯定感の調査結果が参考になります。数値的には低下がみられますが(81.7%⇒75.0%)、34や35などの各事業での体験的な学びが「子どもの豊かな心」を育成するものと考えます。自己肯定感のあり様は子ども個々の内面的な豊かさをみる意味で有益です。これと同時に、体験的な学びの実際は他とのかかわりや社会性を育むうえで「徳育醸成」の要です。この両方を集約化するところに「豊かな心」の本質があります。ただ今のコロナ禍は、34～37の各事業の実際を困難にしているでしょう。この中で「心の育成」をいかに問うかが課題です。

- ※34(移動教室の実施及び再構築)、  
 35(音楽鑑賞教室(小学校)とオーケストラ鑑賞教室(中学校))、  
 36(幼稚園教諭・保育士合同研修の実施と園内研修(公開保育及び協議会)の拡充支援)、  
 37(保幼小地域連携協議会の開催と保幼小連携合同研修)

#### 個別事業に対する意見

事業名	34 移動教室の実施及び再構築 35 音楽鑑賞教室(小学校)とオーケストラ鑑賞教室(中学校)
意見	とりわけこの2つの事業がコロナ禍により、中止や事業変更に至ったこと、子どもたちの失意のところが痛く伝わる場所です。そして、その体験からの子どもの学びの喪失も各先生方や教委の方々にとって大なるものがあると考えます。この状況を具体的に質問紙や聞き取りなどから調査し、次年度以降の事業の推進に活かしてほしいと願っています。次代にある科学の営みにこそ、Art(芸術・教養)が不可欠です。
事業名	32 道徳教育推進教師連絡協議会
意見	本事業の推進が、プラン1の「ともに生きる力」の実績に関連していることうれしく思います。大田区の全部の先生方の「道徳観」が確かにかつ質的に豊かなものでなければ、子供の「心の醸成」に資することは考えられないものです。年3回の内容を各学校の研修や日々の道徳教育(とくに道徳の授業)において具現化しているのか、その実態と実効性を明らかにしていくことを期待するところです。子供の心の豊かさと先生の心と学びの確かさは、比例するものです。

#### プラン4 体力の向上と健康の増進【体】について

【当該プランに対する評価】本プラン4は、プラン1・2・3のベースになるものです。たくましい体力あつてのくおたの未来を創る力>の存在です。数値的にも男女とも体力が向上していること、事業実績として素晴らしいことです。各事業の推進がスポーツの楽しさを知り、生涯にわたってスポーツを楽しもうとするエネルギーになっています。これらの事業推進にあってもコロナ禍が大きな影響になっていること残念です(とくに39・42・43の事業)。また、44・45の事業による日常的な習慣形成や健康づくりへの努力が、いまのコロナ対応上も極めて重要であると考えます。ポストコロナ時代でも、継続したい事業です。

※39(大田区小学生駅伝大会)、  
42(幼児期運動指導(運動遊び指導)リーダー保育者養成研修と保幼小連携運動遊び指導者研修)、43(親子運動遊び講座(家庭教育支援講座)、44(早寝、早起き、朝ごはん月間)、  
45(子どもの健康づくり教室)

#### 個別事業に対する意見

事業名	41 体育指導と外遊び
意見	本事業でとくに小学校1・2年の体育指導を重視していること、大いに評価したいところです。この実績が生涯スポーツの基盤になります。そして子どもたちが学校教育に興味・関心と意欲を抱くことにも関連するものです。「体育指導の上手な先生は子どものやる気を引き出す」との教育論の一つを可能にしていると考えます。また、外遊びは子ども時代の巧みな体の動きをつくれます。42・43の事業とも関連させ、今後のより一層の充実を期待します。
事業名	45 子どもの健康づくり教室
意見	この事業は、プラン4(またはビジョン全体)の根幹になるものでしょう。44の事業の実践と取り合わせ、子どもたちの発達段階に合わせた健康教室を展開することが重要です。この中心は言うまでもなく、「食育」です。学校での給食指導を軸に、体育や学級活動などの指導とも連動させた事業推進を期待するところです。また、各家庭での食の充実や団らんの在り方などにも言及した本事業の実践を推進することが大切です。

## プラン5 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】について

【当該プランに対する評価】プラン5は、子ども個々の豊かな未来を創る基本インフラです。内容の一つ一つが、子ども自身の確かな学びとなる精神(人としての魂)を形成します。とくに、教職員の指導力向上と学校組織の活性化そして安全・安心の充実は、教育で最も重要な子どもの〈個性と可能性〉を引き出す中核になります。このことの確実な保障が子どもの意欲あふれる学びの場をつくり、自らの力量の発揮をより一層促進します。そこには、大田区の各地域や各家庭をはじめとした社会・区民全体の理解と協力そして強力な支援が求められます。(施設関連の事業はコロナ禍で致し方ない面があります)

### 個別事業に対する意見

事業名	47～53にみられる人的環境整備の事業 ※47(問題行動対応サポートチームと生活指導支援員)、48(夏休等取得推進日)、49(副校長アシスタント)、50(部活動指導員と部活動校外指導員)、51(養護教諭補助)、52(読書学習司書)、53(学校図書館の支援)
意見	これら人的資源の充実が、「分かりやすい授業」の実績(61.29%⇒63.78%)に表れていると考えられます。〈教育は人なり〉の証でもあると思います。教科指導や担任の先生の充実とともに、生活指導支援員、副校長アシスタント、部活動指導員、養護教諭補助、読書学習司書など人的な措置対応は区教委の学校教育充実の熱意の表れです。大田の子どもたちの未来像への確かな投資であろうと考えます。日々子どもたちが安心して学ぶ最も重要な教育環境づくりであると思います。今後ともより一層の充実とその実績データの蓄積を求めたいところです。
事業名	65 いじめ防止対策
意見	国のいじめ防止対策推進法(平成25年施行)以来、大田区でも着実な対応がとられ、その進捗がみられることうれしく思います。いじめの問題は単にその事態の問題解決のみならず、子ども個々の日々の学習活動や自己形成の在り方と深くかかわります。それだけに、教員の子どもの存在をみる力量や人権感覚、教科指導力、保護者との信頼関係づくりなど、教育の総合力を子どもたちが問いかけている問題です。いじめの認知件数の集積にとどまらず、これらの総合力との連関の分析を通じたエビデンスの構築(実態・指導・課題の一体化)を検討していただければ幸いです。

## プラン6 学校・家庭・地域が一体となっても進める教育【学校・家庭・地域】について

【当該プランに対する評価】プラン6の各事業が緻密に実施されていることは評価できることです。各家庭や地域の支えとそれに呼応する子どもの家族愛・地域愛(エンゲージメント)の相乗は不可欠です。ただ「今住んでいる地域行事に参加しているか」の調査(おおた教育ビジョンP65)で、令和2年度は未実施でしたが、基準値の平成30年度の小6の肯定評価が49.9%です。都や国の数値を下回っています。この意味に謙虚に学び、課題等を検討したいところです。

### 個別事業に対する意見

事業名	73～75の家庭・地域教育力 ※73(家庭・地域教育力向上支援事業)、74(家庭教育学習会)、75(PTA活動と連携した家庭教育支援)
意見	プラン6にある事業を整理統合する方向性はいかがでしょうか。今日の地域や各家庭の多様化もあって、大田区でもく人の動きと協力がうまく融通できない状況があるように思います。例えば、プラン6にある事業を73～75の3つの窓口に集約することはいかがでしょうか。子どもの学びの支援を重視するとき、地域・学校の図書館を拠点に保護者の学習会・ペアレントトレーニングなどを展開することです。一体化を図る本プランでは、集約化による事業内容の密度向上(やりがい・生き甲斐)が大切だと考えます。
事業名	80 図書館のICT化
意見	ネット環境の急激な進展により、子どもたちを中心に(区民全体にも)本事業のニーズが期待されています。各家庭でのタブレット端末活用(宿題や課題研究、受験勉強など)にあっては、とくに子供たちは24時間の学びの動きの中で情報検索を求めましょう。81の事業とも関連させ、区全体の図書館施策のあり様を構築することが大切だと思います。コロナ禍への対応策としても有益であると考えます。 ※81(池上図書館の移転)

### その他、大田区の教育に望むこと

教育の基本は「陶冶(知識,能力,技能の習得)」と「訓育(意志および性格の育成)」にあることを踏まえ、<おおたの子どもたちが生きる次代>を見据える必要があります。それゆえ、とくに「想定外に対応できる」「エビデンスのある思考をする」「失敗に学ぶ」の3点の重視を各事業で展開することを提案します。この3つは、学びのカチである<知る⇒理解する⇒疑う⇒超える>を子ども自身に可能にしていくものです。また、子ども個々の豊かな人間性をはぐくむ観点から、例えば、STEAM教育の考え方に学ぶ施策・各事業を具現化することを期待します。Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の知恵に生かしながら、子どもの個々の最適な学びを保障したいところです。



令和2年度  
おおた教育ビジョンの事業実績と評価  
～大田区教育委員会行政評価結果報告書～

おおた教育ビジョン  
(令和3～5年度補完版)

令和3年7月  
発行 大田区教育委員会  
〒144-8623 東京都大田区蒲田5-37-1  
ニッセイアロマスクエア5階  
電話 03-5744-1423